

令和5年度鹿児島学習定着度調査結果

薩摩川内市教育委員会

1 調査の結果

(1) 平均通過率 [数値は%]

本調査は「知識・技能」と「思考・判断・表現」に関する内容の調査で構成され、各学年の各教科の通過率を7割に設定し、調査問題が作成されています。

〔上段は本市 下段は県〕 ※本市の結果 7割以上 →

		国語	社会	算数・数学	理科	英語
小 5	本市	68.8	65.5	75.5	78.4	
	県	68.5	65.3	74.6	75.4	
	県との差	+0.3	+0.2	+0.9	+3.0	
中 1	本市	73.8	52.4	75.7	65.1	74.7
	県	75.9	54.4	74.3	66.3	77.0
	県との差	-2.1	-2.0	+1.4	-1.2	-2.3
中 2	本市	65.5	68.7	68.5	63.9	71.0
	県	65.6	62.4	68.8	66.9	71.4
	県との差	-0.1	+6.3	-0.3	-3.0	-0.4

(2) 結果から分かること

14教科のうち、県通過率を上回った教科は、6教科（令和4年度：3教科）でした。また、目標の7割以上を達成した教科は、6教科（令和4年度は：4教科）でした。

【小学5年】

- ・ 算数、理科は、県通過率を上回り、目標の7割以上を達しました。
- ・ 国語、社会は、県通過率を上回りましたが、目標の7割に達しませんでした。

【中学1年】

- ・ 国語、数学、英語の3教科で目標の7割以上を達成しました。数学は県通過率も上回りました。
- ・ 社会、理科は、県通過率を下回り、目標の7割に達しませんでした。

【中学2年】

- ・ 英語は、県通過率をやや下回りましたが、目標の7割以上を達成しました。
- ・ 国語、社会、数学、理科は、目標の7割に達しませんでした。社会は県通過率を上回りました。

2 成果と課題

(1) 成果

- ・ 小・中学校共に、目標の7割以上を達成した教科や県通過率を上回った教科が増えたのは、各学校での授業改善を中心とした学力向上への取組が充実してきた成果です。

- ・ 小学校では、問題文からの立式や、基礎的な漢字や文法、資料から分かることの理解など、基礎的な知識・技能は定着している傾向にあります。
- ・ 中学校では、資料から分かることを説明したり、与えられた条件に応じて考えを書いたりする力は改善している傾向にあります。
- ・ 小・中学校ともに、無答率が低く、最後まで諦めずに粘り強く考えようとするなど、学びへの意欲が向上していることがわかります。

(2) 課題

- ・ 小学校では、複数の資料から必要な情報を選び、それを根拠に考えを説明することに課題がみられます。
- ・ 中学校では、基礎的な知識（文法・地名等の教科特有の用語）の定着に課題がみられます。

3 今後の取組

各学校では、結果の数値だけでなく、間違っただけの解答が多い問題の分析を行うことで、学校の課題を明らかにしていきます。また、児童生徒から「授業がよくわかる」「授業に主体的に取り組んでいる」という声が聞かれるような、「魅力ある授業」づくりを進めていきます。

教育委員会としては、次の3つの視点を大切に、子供たちが教え合い、学び合うことで、確かな学力が定着する子供主体の授業づくりについて、全ての学校に働きかけていきます。

(1) 「子供が見通しをもち、学びを進める授業」



子供主体の授業では、子供たちが、「今日は何を学ぶのか（目標）」について自ら問いを発見し、「どのようにして学ぶのか（方法）」を見通し、学びを進めます。教師は子供に寄り添い、子供の学びをサポートし続けます。

(2) 「子供が対話を通して、学びを深める授業」

子供主体の授業では、教室に子供たちの声（考えや、疑問）が響いています。自分の考えを根拠をもって友達に説明したり、わからないことを教え合ったりして、思考力・判断力・表現力等を働かすことで、知識・技能が定着します。教師は、子供の考えを傾聴したり、子供同士の考えを繋いだりして、子供の学びの深まりをサポートします。



(3) 「子供が振り返り、学びの実感を味わう授業」

学習を振り返る活動を大切にすることで、子供たちは、「何を学び、何ができるようになったのか」「どのように学んだのか」などを自覚し、学びによる達成感や自他の成長などを味わいます。

<参考> 「令和5年度鹿児島学習定着度調査」について

【学力調査】 令和6年1月16日（火）・17日（水）に実施

○ 「知識・技能」と「思考・判断・表現」に関する内容の調査

- ・ 小学校第5学年（国語、社会、算数、理科）
- ・ 中学校第1・2学年（国語、社会、数学、理科、英語）

【学習状況調査】（児童生徒質問紙）令和5年11月24日（月）～12月15日（金）

○ 児童生徒の学習に関する意識や学び方、家での様子などに関する調査（質問紙）

【学校質問紙調査】

○ 学力向上の取組、校内研修の状況、家庭・地域との連携等に関する調査

【実施校数】

小学校 26校、中学校 10校、義務教育学校 1校 計 37校